**４　チェックリスト【小・中・高校生用】**　作成者　　　　　　　作成日　　年　　月　　日

（１）基本内容・世帯の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | 氏名・学年等 | 氏名　　　　　　　　　　男・女　　学年等　　　　　　　　　 |
| ２ | 保護者の状況 | □ 父・母　□ 父のみ　□ 母のみ　□ その他(　　　　　　) |
| ３ | 子どもの人数 | 　　　　　　人 |
| ４ | 就労の状況 | 父：□ 正規就労、□ 非正規就労、□ その他(　　　)、□ 無職母：□ 正規就労、□ 非正規就労、□ その他(　　　)、□ 無職その他：□ 正規就労、□ 非正規就労、□ その他(　　)、□ 無職 |
| ５ | 保護者の母国語 | 父：　　　　　　　母：　　　　　　　その他：　　　　　　 |

（２）子どもの様子

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な傾向 | 想定される家庭の状況 |
| 服　装 | １ | □ | 衣服が清潔ではない。傷んだ服や靴を身に着けている。サイズが合っていない服や靴を身に着けている。 | ・洗濯にかかる水光熱費や洗剤の購入代金を支払えない、または洗濯機がないため、洗濯ができず同じ服を着ている。・購入費用が工面できず、服や靴などの購入が困難なため、枚数が少ない。・保護者が子どもの状態に無関心。・動物の毛が多くついていることもある。 |
| ２ | □ | 季節外れな服装をしている。 | ・季節に合った服等の購入費用がない。・家庭内の整理が行き届いていない。 |
| 身　体 | ３ | □ | 髪の毛が整っていない、洗髪していない。体が汚れている。体臭等のにおいが気になる。 | ・散髪代を工面することができない。・風呂にかかる水道代などが工面できなかったり、風呂に物がたくさんあるため、入浴できない。・保護者が子どもの状態に無関心。 |
| ４ | □ | 長期休暇（夏休みなど）明けに体重の変動が大きい。けががあることもある。 | ・食費を工面できなかったり、保護者が多忙で生活に余裕がないため、十分な量・質の食事が用意されず、十分な栄養が取れていない。・保護者と長い時間過ごすと暴力を受ける。 |
| 持　ち　物 | ５ | □ | 学校の持ち物が揃わない、忘れ物が多い。 | ・保護者が仕事の掛け持ちをせざるを得ない等により長時間労働となって、子どもに気を向けることが困難な状況にある。・必要な持ち物を購入する必要を工面することができない。 |
| ６ | □ | 集金が遅れている。 | ・保護者の収入減少等で支払いできない。・子どもも集金のことで過敏になっている。 |
| ７ | □ | 家にWi-Fiがない。携帯電話の使用を止められる。 | ・Wi-Fiの購入費用や携帯電話の使用料を工面できない。 |
| ８ | □ | 自転車などの交通手段がない、または利用できない。 | ・自転車の購入費用や、友達と出かけるための交通費などが工面できない。 |
| 病気・体調 | ９ | □ | 標準よりかなり小柄である。発育が標準を下回り続けている。 | ・食費を工面できなかったり、保護者が多忙で生活に余裕がないため、十分な量・質の食事が用意されず、十分な栄養が取れていない。 |
| 10 | □ | 特別な病気がないのに、顔色が良くない。 |
| 11 | □ | 病気やケガ、むし歯で医療機関の受診が必要だと思われるが受診していない。予防接種を受けていない。 | ・診察代を工面することができなかったり、医療費の補助制度を知らない。・病院に連れていくために保護者が仕事を休むことができない。 |
| 態　度　・　表　情　・　行　動 | 12 | □ | ボーっとしており、無気力である。覇気がない。自分の欲求や要求を強く出さないで諦める。自分なんかどうでも良いという態度や、自己否定を表す言葉が見られる。（私が悪い、いない方がいい、など） | ・自分を受け入れてもらえない現状や、希望することや必要なものを諦める経験が積み重なり、自己肯定感が低くなっており、将来の希望や楽しみがもてない。・兄弟や親等の世話や、生計を成り立たせるためのアルバイトが忙しい。 |
| 13 | □ | 普段の学習や進学、将来などについて悩んでいる。 | ・兄弟の世話や家事などで、学習に割く時間が十分に取れず、学習に対する苦手意識が強くなり、進学先や将来に不安を抱えている。・家庭状況が不安定なため、等身大の生活のモデルが身近におらず、なりたい自分像や夢を描けない。・進学するお金がないと言われている。 |
| 14 | □ | 落ち着きがなく、友達や先生に対し攻撃的・暴力的な言動をする。 | ・周囲と比較することで自分との差が鮮明となり、精神的な不充足感が募っている。 |
| 15 | □ | 必要以上に大人に甘える。 | ・保護者に冷たくされている。（かまってもらえない、何らかの虐待を受けている等） |
| 16 | □ | 他児の持ち物への興味が強い | ・空腹や必要なものを我慢することが多い。 |
| 17 | □ | 登校の時間がバラバラである。 | ・保護者が仕事の掛け持ちをせざるを得ない等により長時間労働となって、子どもに気を向けることが困難な状況にある。・兄弟や親等の世話や家事、生計を成り立たせるためのアルバイトが忙しい。 |
| 18 | □ | 家に帰りたがらない、家の話をしたがらない。 | ・親が子どもに関われていないため、家庭に居場所がなく、子どもにとって家にいたくない環境となっている。 |
| 19 | □ | 宿題ができていない。 | ・家庭に帰ると、兄弟や親等の世話や家事、生計を成り立たせるためのアルバイト等により宿題をする時間や場所がない。 |
| 20 | □ | 行事への参加をしない | ・行事や習い事などの費用を工面できない。・兄弟や親等の世話や家事、生計を成り立たせるためのアルバイトが忙しい。 |
| 21 | □ | 友だちの輪に入ることが少なく、クラブ活動や習い事などにも参加できていない。 |
| 22 | □ | 夜間、自宅以外で寝泊まりし、そこから通学している。 | ・経済的な理由から、安定した生活を送ることができていない。 |
| 23 | □ | 夜遅くまで、子どもだけで家の外で遊んでいる。 | ・保護者が仕事の掛け持ちをせざるを得ない等により長時間労働となって、子どもに気を向けることが困難な状況にある。 |
| 24 | □ | コンビニ前等に、また長期休暇中などに児童館等に長時間いる。 | ・家に居場所がない。・Wi-Fiの費用を工面できない。 |
| 食　事 | 25 | □ | お腹を空かせ、「朝食を食べていない」「家に帰っても食べるものがない」と言う。適量を超えて給食を何杯もお代わりをする。 | ・食費を工面できなかったり、保護者が多忙で生活に余裕がないため、十分な量・質の食事が用意できない。 |
| 26 | □ | 弁当が必要な場合、持参しない、または欠席する。 |
| 27 | □ | 食事の栄養バランスが偏っている。 | ・色々なものを食べた経験がない。・白米だけの弁当や、ファストフード、菓子、菓子パンなど安価・手軽な食事をとっている。 |
| 28 | □ | 昼休みに弁当を食べずウロウロしている。 | ・高校生の場合、食費を工面できなかったり、保護者が多忙で生活に余裕がないため、十分な量・質の食事が用意できない。 |

　チェックリストに関する事項等について、子どもの気になる点（任意記載）

|  |
| --- |
|  |

（３）保護者の様子

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な傾向 | 想定される家庭の状況 |
| 服　装 | １ | □ | 子どもの服装には無頓着だが、自分の服装には、気をつかっている。 | ・自分が育ってきた環境などが影響して、支出の優先順位が分からなかったり、自分中心で子どもにはお金をかけない状況にある。 |
| ２ | □ | 衣服が清潔ではない。ボロボロな服や靴を身に着けている。 | ・洗濯にかかる水光熱費や洗剤の購入代金を支払えない、または洗濯機がないため、洗濯ができず同じ服を着ている。・購入費用が工面できず、服や靴などの購入が困難なため、枚数が少ない。 |
| ３ | □ | 行事に合っていない服装をしている。 | ・世帯収入の減少やＤＶなどにより、衣服が購入できない。 |
| 学校等とのやりとり | ４ | □ | 連絡を取ることが困難である。（電話に出ない。居場所がわからない。）家庭への訪問を嫌がる。 | ・仕事に行き収入を得ることが優先されたり、電話代が工面できなかったり、子どもの日常の様子を把握していないなど、生活全体に余裕がない。・経済的困窮等の影響で家を他人に見せられない可能性がある。 |
| ５ | □ | コミュニケーションに違和感がある。 | ・生活全体に余裕がなく子どもの日常の様子を把握していない。・保護者が発達障害等の問題を抱えている。（子どもが保護者に代わって家事等をしている可能性がある） |
| 子どもへの態度 | ６ | □ | 子どもの養育に拒否的で無関心である。 | ・生活することに必死で余裕がなく子どもの状態にまで関心が持てない。・保護者自身がそうした環境で育ち、子どもの養育の仕方がわからない |
| ７ | □ | 子どもへのしつけが厳しすぎる、または子どもに対する言葉遣いが荒い。 | ・生活することに必死で余裕がなく子どもの状態にまで関心が持てない。・保護者自身も厳しく育てられており、必要以上に厳しくなってしまう。 |
| 日常生活等 | ８ | □ | 育児や家事が辛そうである。 | ・生活することに必死で余裕がない。 |
| ９ | □ | 保護者が長時間働いており、生活リズムが崩れている。 | ・保護者が仕事の掛け持ちをせざるを得ない等により、長時間労働となり、子どもの生活に気を向けることが困難な状況にある。 |
| 10 | □ | 親族や学校、保護者間、地域との交流がなく孤立している。コミュニティに入れていない。 | ・生活に困っていることや家庭の問題を周囲に知られたくないという感情から、周囲との関わりを避けている。・宗教によっては、教会等とのつながりがないと孤立している可能性が高い。 |

（小学生の保護者用の追加項目）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な傾向 | 想定される家庭の状況 |
| 子どもへの態度等 | １ | □ | 連絡帳を書かない。 | ・生活に余裕がなく、子どもへの関心が薄くなっている。・現在と将来への不安を抱え、気持ちにゆとりがもてない。・疾病や能力的難しさがあり書けない。 |
| ２ | □ | 子どもを置いたまま外出する。 | ・保護者が仕事の掛け持ちをせざるを得ない等により、長時間労働となり、子どもの生活に気を向けることが困難な状況にある。 |
| ３ | □ | 休日に子どもと出かけることが少ない。 | ・日々の疲労で、休日に出かける余裕がない。・生活に余裕がなく、出費を抑えている。 |

　チェックリストに関する事項等について、保護者の気になる点（任意記載）

|  |
| --- |
|  |